

令和7年度組織目標

部局名	子ども若者部
R7年度に特に注力する事項（目標）	<p>○子ども・若者の声を踏まえた県政の推進、子どもの権利にかかる周知啓発</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの声を踏まえた「すまいる・あくしょん」の更新や、新たな「子ども版県政世論調査」の実施など、県政全般について継続的に子どもの声を聴く仕組みを構築する。 ・「すまいるあくしょんアイデアソン事業」で得た若者の意見をもとにした関係部局との調整により、地域課題解決に向けた事業化につなげる。 ・子ども自身にもわかりやすい年代別の啓発資料を作成するとともに、県の広報媒体や出前講座など様々な手法を用いた県民や企業等へ周知啓発する。 ・「滋賀県子どもの権利委員会」の立ち上げと、子どもの権利侵害に対する相談対応や関係者調整等を行う体制を構築する。
	<p>○すべての子どもの学びの機会と居場所を確保</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校支援の充実のために、重点的に以下の取組を行う。 ・「高校の不登校」に係る状況把握、支援の検討・具体化 ・民間施設に対する支援手法の検討・具体化
	<p>○保育を支える人材の確保</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等における職場体験(インターン)事業の参加者数20人 ・放課後児童クラブにおける職場体験(インターン)事業の参加者数 50人
	<p>○子どもの貧困解消に向けた施策の推進</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度設置の庁内連携会議や社会的養護自立支援実態把握事業の調査により、子ども若者から声を聴き、課題を洗い出すとともに更なる取組を検討し、子どもの貧困解消に向けた施策を推進する。
	<p>○【見直し・効率化】ICTを活用した効率的な業務の推進</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話での児童相談内容の自動録音・文字起こし機能の導入等により、児童相談業務の負担軽減や効率化を推進する。 ・Web会議、会議録作成システムを活用することなどにより、審議会その他の会議にかかる業務を効率化・省力化する。

所属名	子ども若者政策・私学振興課
R7年度に特に注力する事項（目標）	<p>○子ども・若者の声を踏まえた県政の推進</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組を踏まえた参考事例の集積による「子どもの意見反映に関するガイドライン」のバージョンアップ ・「子ども県議会」に加え、子どもの声を踏まえた「すまいる・あくしょん」の更新、新たな「子ども版県政世論調査」の実施など、県政全般について継続的に子どもの声を聴く仕組みの構築 ・「すまいるあくしょんアイデアソン事業」で得た若者の意見をもとにした、関係部局との調整によるR8年度の事業化
	<p>○子ども基本条例、子どもの権利にかかる周知啓発</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを交えたワークショップを通じた、子ども自身にもわかりやすい年代別の啓発資料の作成 ・県の広報媒体や出前講座など様々な手法を用いた県民や企業等への周知啓発
	<p>○子どもの体験活動の推進</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生向けの体験プログラムの広報媒体「しがこども体験学校」により集約した情報と、総合企画部が進める「暮らし方改革」との連携等による、利用者目線での幅広い情報発信
	<p>○私立学校支援の充実</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立学校の特色ある取組に対する補助制度の見直しなど、私学助成の充実の検討
	<p>○【見直し・効率化】ICTを活用した効率的な会議運営</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Web会議、資料の電子配布、会議録作成システムの活用等による、審議会その他の会議にかかる業務効率化・省力化

所属名	子どもの権利室
R7年度に特に注力する事項（目標）	<p>○子どもの権利侵害にかかる相談体制の構築</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「滋賀県子どもの権利委員会」の立ち上げと、子どもの権利侵害に対する相談対応や関係者調整等を行う体制の構築。 ・「子ども・子育て応援センター」をはじめとする子どもの相談窓口の周知等、子どもがより相談しやすい環境づくりの推進。
	<p>○子どもの権利にかかる周知啓発</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップを通じて子ども目線で作成された啓発資料、出前講座や県の広報媒体など、様々な手法を用いた、子どもや保護者、支援者、学校、県民などに対する子どもの権利にかかる周知啓発。
	<p>○【見直し・効率化】ICTを活用した効率的な会議運営</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Web会議、資料の電子配布、会議録作成システムの活用等による、審議会その他の会議にかかる業務効率化・省力化

所属名	子どもの育ち学び支援課
R7年度に特に注力する事項（目標）	<p>○しがの学びと居場所の保障プランに基づく包括的支援の推進</p> <p>①「高校の不登校」に係る状況把握、支援の検討・具体化 ②中学校卒業後の進路選択に係る保護者等への情報提供 ③教員等のアセスメント力向上に向けた医療的研修の実施（3回,延べ400人以上受講）</p> <p>目標： ④保護者交流会・相談会の開催（3回,延べ300人以上参加） ⑤民間施設利用者支援事業の実施市町の増加（R7:13市町→R8:増加） ⑥民間施設に対する支援手法の検討・具体化</p>
	<p>○子ども若者ケアラーに対する支援体制の強化</p> <p>目標： ・18歳以上の若者層に対する支援の検討・具体化</p>
	<p>○【見直し・効率化】オフィス環境の改善</p> <p>目標： ・協議等資料のペーパーレス化、電子決裁の徹底</p>

所属名	子育て支援課
R7年度に特に注力する事項（目標）	<p>○放課後児童クラブの質の向上を目指した人材確保</p> <p>・放課後児童支援研修修了者数 400人</p> <p>目標： ・放課後児童クラブにおける職場体験(インターン)事業の参加者数 50人</p>
	<p>○待機児童ゼロを目指した保育人材の確保</p> <p>目標： ・保育所等における職場体験(インターン)事業の参加者数20人</p>
	<p>○プレコンセプションケアの推進</p> <p>目標： ・プレコンセプションケア講師派遣事業等で受講者数4000人以上</p>
	<p>○【見直し・効率化】</p> <p>目標： ・業務の効率化を図るため、スケジューラーを活用したタイムマネジメントの一部導入</p>

所属名	子ども家庭支援課
R7年度に特に注力する事項（目標）	<p>○子どもの貧困解消に向けた施策の推進</p> <p>目標： ・今年度設置の庁内連携会議や社会的養護自立支援実態把握事業の調査により、子ども若者から声を聴き、課題を洗い出すとともに更なる取組を検討し、子どもの貧困解消に向けた施策を推進する。</p>
	<p>○現場の職員が安心して働き続けられる職場づくりの推進</p> <p>目標： ・SV職員によるOJTを通じた若手職員に対するケアの充実などにより、子ども家庭相談センターや淡海学園の職員が安心して働き続けることができる職場づくりを進める。</p>
	<p>○社会的養護のもとで暮らす子どもの権利擁護の更なる推進</p> <p>目標： ・意見表明等支援員による児童養護施設等で生活する子どもの声を聴く機会の増加や、施設入所時に全ての子どもに配付する「子どもの権利ノート」の全面改訂などにより、子どもが自分自身の意見や思いをより表明しやすい仕組みづくりを更に推進する。</p>
	<p>○【見直し・効率化】児童相談業務のICT化の推進</p> <p>目標： ・児童相談システムの再構築や電話での相談内容の自動録音・文字起こし機能の導入等により、児童相談業務の負担軽減や効率化を推進する。</p>